

令和7年度 学校の教育目標

共に輝け!!
八中生

八幡浜市立八幡浜中学校

八幡浜中学校「校長だより」 No.7

校 訓

誠 実 情 熱 団 結

書：竹上広子先生 令和7年7月15日（火）

えひめジョブチャレンジU-15 ～貴重な体験をさせていただきました～

6/30（月）～7/4（金）までの五日間、2年生は「えひめジョブチャレンジU-15」に挑戦しました。この取組は、望ましい職業観や勤労観を身に付けることを目的とし、県下の公立中学校2年生で実施されています。八幡浜市では、八幡浜中学校と保内中学校の2年生213名が96の事業所で職場体験を実施しました。ご協力いただいた事業所のみなさま、ありがとうございました。

【Aコープ 八幡浜店】

商品が出回るまでに、たくさんの人の苦労や努力があると分かりました。また、お客さんに少しでも商品を分かりやすく伝えるために、割引シール貼りや魚のラッピングも工夫されていることを知りました。そして、その商品を見る人、使う人がより気持ちよく、より快適になるように対応するということを学びました。

【八水蒲鉾】

やればやるほど達成感が出て、その成果も見られるということが分かりました。自分たちがあまり見ない作業場を見たことで、小さなこと一つ一つに心掛けているということが分かりました。いつも学校では味わえない達成感や緊張感を得ることができました。その商品を扱うときの衛生面のことや、作業をしているときに失敗したらどうなるか、事業所の人に迷惑はかかっていないかを、実際に体験してみることで感じるすることができました。学校みたいに気が緩んでもいい時間がないことを知って、働く時の大変さも学ぶことができました。働くときに必要な礼儀・心構え・大変さを知ることができて良かったです。

【八西CATV】

私は、この職場体験を通して、普段何気なく見ているニュースにもたくさんの苦労と時間と思いが詰まっているんだなと思いました。実際に撮影をしてみて、カメラの扱いは一筋縄ではいかず、編集のことも考えながら撮るのは難しかったです。しかし、カメラに映る人や、インタビューを受けている人の表情を見て、人の笑顔を映し出すことができるこの仕事は、とてもすてきだと思いました。これから、この経験を生かして、たくさんの人を笑顔にできる人になりたいです。

【菓工房 後藤】

私は、一週間職場体験をして、「地道にする大切さ」を学びました。菓工房後藤さんは、ほとんどが手作業で、数時間ずっと手足を動かして、とても大変でした。また、袋詰めもたくさんの量を数時間ずっと手作業でやっていました。袋詰めが終わった後には、袋を熱で閉じてきれいに並べる作業をしました。とにかく量がたくさんあるのに、ほとんどが手作業で、地道にやっていくしかなくて、とても大変でした。でも、大変だからこそ、おいしい和菓子ができるんだなあとと思いました。

そもそも、人は何のために働くのでしょうか。それは、「生活していくためのお金を得るため」という経済的な理由が第1にあると思いますが、「自分の個性や能力を生かすため」というように自己実現を重視する考え方もあれば、「社会の一員としての務めを果たすため」というように社会貢献を重視する考え方もあります。人によって考え方は様々ですが、「人に喜んでもらえた」とか「社会の役に立った」といった実感が得られ、自分自身も喜びや働きがいを感じられることが、働くことの意味だと、私は思います。

上の四つの感想に共通していることは、どの職場においても、その商品を買ったお客さん、ニュースを見た視聴者のみなさんに「喜んでもらえるように」「役に立つように」ということを考えて、商品やニュースを作っているということです。この職場体験を通して、自分のした仕事、誰かの役に立っているということを実感することができたと思います。

（文責 河野 靖）